

報 告

第36回リハ工学カンファレンス from 中国・四国支部イベント報告

久留井 真理

広島頸損ネットワーク

2022年3月26日(土)、オンラインで開催された第36回リハ工学カンファレンス from 中国・四国支部イベントに参加しました。テーマは『リハ工学が変える!頸損父ちゃんの生活をまる裸』、当日の参加登録者は60名近くおられたそうです。谷口さんからお誘いいただいたこのイベントは、今までなんとなく逃れて来たZoomでのオンライン。そんなわけで悩みましたがテーマにとても魅かれ、隣で知人に手順を教えていただきながら、ついにオンラインデビューです。

緊張の中始まりましたが、プレゼンをされた鈴木君のいつもの明るい笑顔に緊張はすぐに解け、興味いっぱいの話に引き込まれて行きます。10年前、全国頸髄損傷者連合会の全国総会が松山で開催された時、「車いすで松山城へ行こう!」という無謀を当たり前に変えた鈴木君の企画。そういった前向きな思考の1つ1つが、周りを動かしていくのだなあ、と背中を押されたことを思い出していました。鈴木君の日常も、同じくプラス思考で何から何まで当たり前の生活。家族、介助者のことにも気を配られながら、リフォームを始め良いと思うことは貫いたり、積極的に取り入れたりと、いろんな工夫をされて自分スタイルを築かれていました。学生時代に身に着いた、ラグビー魂“トライ”精神かな!

身体にかかる更衣、移乗とか、身の回りのケアについて、私も同じく1対1が好きです。時間が静かに過ぎ、介助者との対話がきちんとできるように思います。全介助は、衣服の着脱の手順、髪をととのえる、お化粧をすることまで希望する手助けが必要で、

どうしてほしいか小さなことまで1つ1つ伝えなければいけません。リフト移乗や着替えでは、ちょっとしたことで体を痛めることができます。そうならないように、感性様々な介助者に思いを伝えるのは疲れても、心地よく過ごす為には、介助者とのいい関係を築くことだと思いますので、頑張っています。

鈴木君の在宅生活は、リフォームやリフトの活用、環境制御装置、自分に必要な物の使いやすい配置、寝具、福祉用具での体位交換やベッド上の楽なスタイルを確立、自分に合った自助具によって、快適に送られることを実感しました。最近では、建築業者のバリアフリーリフォームも進化とともに、依頼側も知識が増えアイデア満載。鈴木邸では驚きの工夫による浴室の改装で、リフトを使い入浴。引っ越しの度に、建物の構造、環境に合わせたリフトを探し設置。玄関ドアも自動で開閉し自由に入り可能。

リフトの活用により、ヘルパーさん一人で衣服を着替えベッド移乗後、一人での空間が作れる。家族と良い関係を保つには、いくら夫婦や子供だといっても、それぞれの時間は必要だと思います。それにはヘルパーさんやリフトを積極的に利用しながら、自立をすること。頸損者として自立することで自信が持て楽しみも増え、家族も安心からゆとりが生まれ、対等に接することができるのかな、と思いました。

この度の企画:テーマは、鈴木君の頸損生活スタイルが、とても勉強になり分かりやすく紹介されました。8月に開催されるリハ工学カンファレンスでも、もっと多くの方々にお話をさせていただきたいと思いました。そして、当事者の顔やいろいろな映像を見ながら詳しく話が伺え、日常生活について当事者、関係者の方々との質疑応答、意見やアイデア、アドバイスを聞くことが出来、とても参考になりました。

広島頸損ネットワーク

ただ初 Zoom オンラインということで、質問を打ち込むのが追いつかなかったのが心残り。今度こそは！と思ってますが…。また開いていただけることを願います。

8月に開催される第36回リハ工学カンファレンス。プレイベントで、これだけ楽しく時間が過ぎたので当日がとても楽しみです。より多くの情報と出会いに期待しています。『リハ工学カンファレンス待望の初参加』とワクワクしていますが、オンラインということで直接お会いすることが出来ないのが残念です。でもそのお陰で Zoom オンラインに興味が持て、オンラインデビューすることが出来ました。楽しみなことには頑張りますね。

お話しをいたいた鈴木君、お世話をありがとうございました。

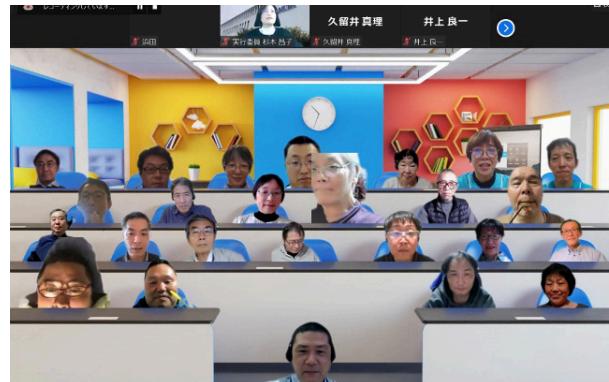


図1